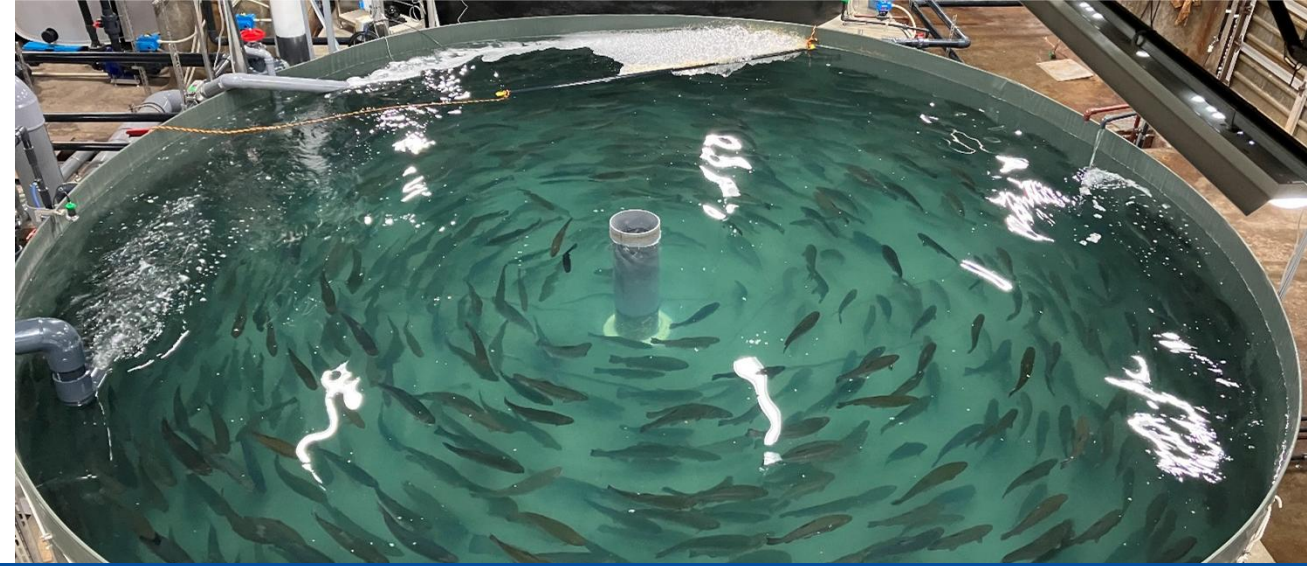


浜から食卓までを網羅し、
挑戦の歩みを未来へ



2027年3月期第1四半期決算短信 補足説明資料

2026年8月7日

8091

プライム市場



2027年3月期 1 Q決算のポイント：増収減益。進捗状況は期初予想通り

売上高：37,757百万円 前年同期比+6.9%（期初予想進捗率 2Q53.9%・通期26.0%）

営業利益：806百万円 同 △21.9%（同 2Q53.7%・通期25.2%）

事業環境

- ・水産物インバウンド需要は拡大。他方、水産物漁獲量や原料相場の不安定は続く
- ・省人化など食品機械設備投資意欲は堅調

各セグメントの状況

食品事業：増収減益 中国向け凍魚販売が拡大も、工場火災の影響により、すり身製造で収益悪化

海洋事業：増収増益 まき網、海外陸上ネットなどの漁具・養殖関連資材が堅調に推移

機械事業：減収減益 例年並みの業績推移も、国内メーカーの海外展開を背景とした案件受注増

資材事業：増収増益 マンション建設前倒し需要と価格上昇で住宅用部材シート・印刷用フィルム販売が増加

2027年3月期1Q決算：増収だが、売上総利益率低下が影響し営業減益に

売上高：37,757百万円（+6.9%）

営業利益：806百万円（△21.9%）

増収要因
(主要製品) 食品：中国向け北方凍魚、新NB商品など水産加工品
海洋：まき網用資材、官公庁案件、養殖資材
資材：建材関係シート、フィルム拡販、農畜資材

減益要因 食品：工場火災によるすり身製造での収益悪化
機械：案件の一部期ズレ。期初想定通りには推移

(単位：百万円)	2026年 3月期1Q	構成比 (%)	2027年 3月期1Q 実績	構成比 (%)	前年同期比 (%)	2027年 3月期2Q 期初予想	2Q予想に 対する進捗率(%)
売上高	35,305	100.0	37,757	100.0	6.9	70,000	53.9
売上総利益	3,387	9.6	3,287	8.7	△2.9	—	—
販売費及び 一般管理費	2,353	6.7	2,481	6.6	5.4	—	—
営業利益	1,033	2.9	806	2.1	△21.9	1,500	53.7
経常利益	1,174	3.3	1,018	2.7	△13.3	1,700	59.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	846	2.4	728	1.9	△14.0	1,200	60.7

2027年3月期1Q決算・事業別動向（前年同期比）

売上は食品・海洋・資材が増収。減益はミール工場火災事後処理と機械期ズレが影響

（単位：百万円）		2026年3月期1Q	構成比 （％）	2027年3月期1Q	構成比 （％）	増減
全体	売上高	35,305	100.0	37,757	100.0	+ 2,451
	営業利益	1,033	—	806	—	△ 226
食品	売上高	22,083	62.5	24,248	64.2	+ 2,164
	営業利益	433	30.1	393	29.2	△ 39
海洋	売上高	6,205	17.6	6,688	17.7	+ 482
	営業利益	333	23.2	426	31.6	+ 93
機械	売上高	3,925	11.1	3,477	9.2	△ 447
	営業利益	532	37.1	372	27.7	△ 159
資材	売上高	2,419	6.9	2,681	7.1	+ 262
	営業利益	107	7.5	136	10.1	+ 28
バイオティックス	売上高	63	0.2	64	0.2	+ 0
	営業利益	△7	—	△ 15	—	△ 8
物流	売上高	582	1.6	570	1.5	△ 11
	営業利益	10	0.7	△ 4	—	△ 14
その他＊	売上高	26	0.1	26	0.1	△0
	営業利益	19	1.4	19	1.4	△0
全社費用		△397	—	△ 522	—	△ 125

＊その他は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

貸借対照表（要約）：従来同様に1Qは水産物を確保し、拡販準備を進める

インバウンド・通販向けに需要増が見込める「タラバガニ」の取扱いを強化、積極的に在庫を確保
年末商戦(3Q)で消化される見通し

(単位：百万円)	資産の部		(単位：百万円)	負債・純資産の部	
	2027年3月期1Q	前期末増減		2027年3月期1Q	前期末増減
流動資産	68,947	+ 8,343	流動負債	43,275	+ 8,213
現金及び預金	8,574	+ 1,705	支払手形及び買掛金 電子記録債務	13,424	+ 1,080
受取手形及び売掛金 電子記録債権	16,047	△479	短期債務	24,448	+ 6,937
商品及び製品	37,537	+ 6,846	固定負債	21,232	+ 40
固定資産	30,422	+ 610			
有形固定資産	10,701	+ 173	純資産	34,958	+ 691
無形固定資産	478	△22	株主資本	26,986	+ 298
投資その他の資産	19,242	+ 459	その他包括利益計	7,952	+ 392
資産合計	99,467	+ 8,944	負債・純資産合計	99,467	+ 8,944

事業環境と今期の取組方針：期初段階と大きく変わらず

水産物インバウンド需要、養殖需要、食品加工機械の設備投資は、引き続き堅調

2027年3月期 1 Q（足元の状況）

外部環境

- ・ 堅調な水産物インバウンド需要
- ・ 水産物漁獲量が不安定で、水産物製造コストは上昇、原料相場は変動
- ・ 食品機械設備投資は、国内の恒常的な人手不足と海外の円安効果で需要増

自己評価

- ・ 中計2年目を迎えたが、主要4事業の業績はまずまずの滑り出し
⇒ 食品事業は増収、海洋・資材事業も堅調、機械事業は、受注堅調
- ・ 中長期利益成長へ社内意識浸透施策（タウンミーティング）を実施

2027年3月期今後の見通し

外部環境

- ・ 1 Qの状況から大きく変わらない見通し

取組方針

「食品事業」

- ・ 適正な価格転嫁の遂行
- ・ 水産物インバウンド需要では、ブランド強化と年末商戦を意識してタラバガニを強化

「海洋事業」

- ・ 陸上養殖事業、環境商材の販売促進
- ・ 成魚の海外販売を更に積極化

「機械事業」

- ・ 食品工場の中小型設備投資案件の取り込み
特に海外案件を中心に確実に積み上げ

四半期業績：通期見通し達成へ、まずまずの滑り出し

上期：業績は射程距離内

下期：ミール工場火災影響要因解消とキャッシュ・フロー管理適正化で前年同期比増収増益へ

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2026年3月期 (実績)	構成比 (%)	2027年3月期 (計画)	構成比 (%)	2026年3月期 (実績)	構成比 (%)	2027年3月期 (計画)	構成比 (%)
通期	139,779	100.0	145,000	100.0	2,758	100.0	3,200	100.0
1 Q	35,305	25.3	37,757 (実績)	26.1 (実績)	1,033	37.4	806 (実績)	25.2 (実績)
2 Q	31,716	22.7	32,242	22.2	553	20.1	693	21.7
上期	67,022	47.9	70,000	48.3	1,586	57.5	1,500	46.9
3 Q	43,994	31.5	—	—	1,574	57.1	—	—
4 Q	28,761	20.6	—	—	△402	△14.6	—	—
下期	72,756	52.1	75,000	51.7	1,172	42.5	1,700	53.1

 ニチモウ株式会社

ご参考資料

2027年3月期見通し：変更なし。期初予想どおり機械を含む主要4事業は増収増益へ

売上高1,450億円（+3.7%）、営業利益32億円（+16.0%）

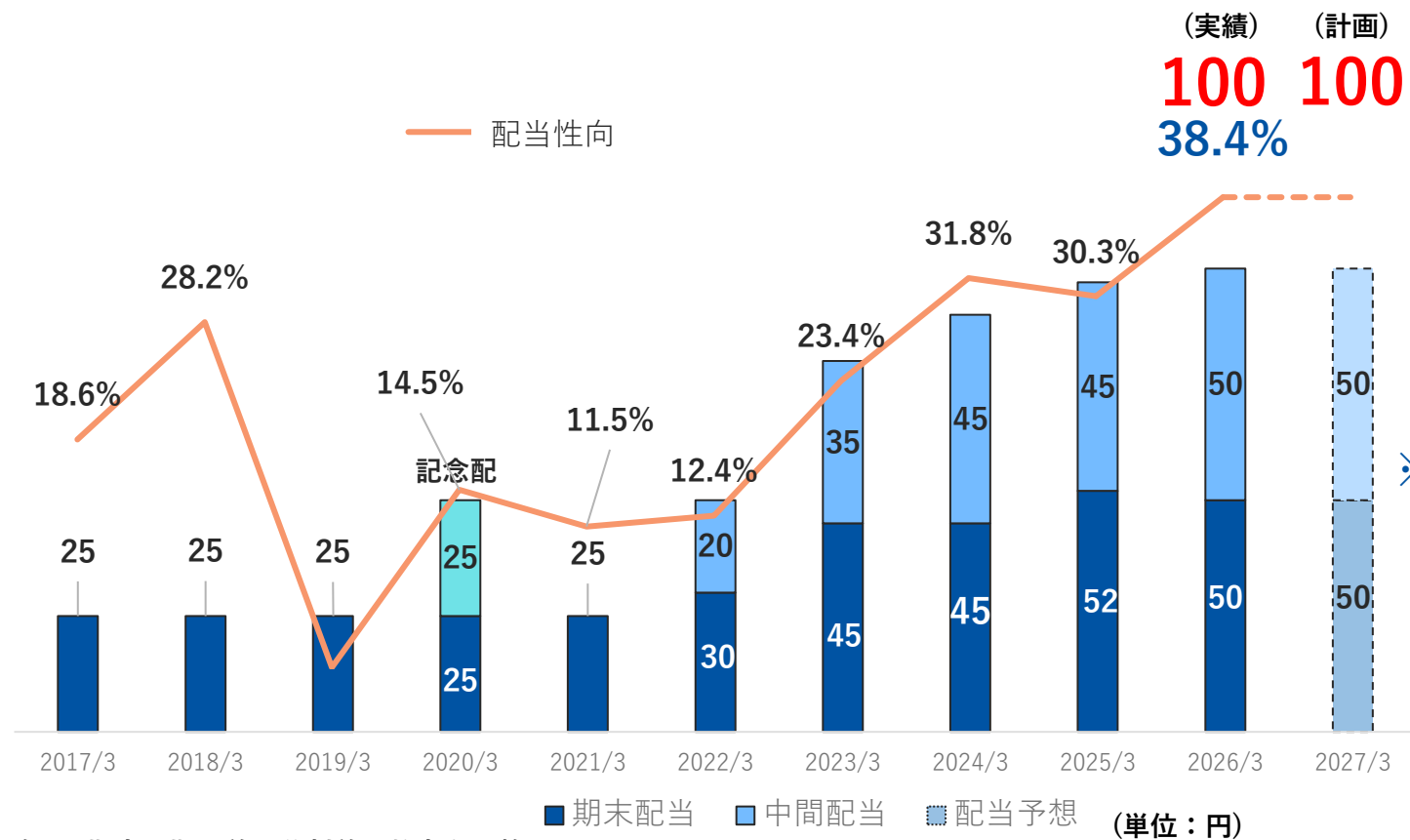
- 売上高：①食品事業：水産物インバウンド需要は拡大。海外向け原料販売は安定化へ
②海洋事業：養殖事業は順調に拡大へ
③機械事業：円安効果による海外案件拡大を見込む
- 営業利益：①増収効果・適正な価格転嫁で、エネルギーや原料コストの上昇をカバーし、増益へ
②今期末稼働開始予定のミール工場再建費用は織り込み済

(単位：百万円)，	2026年3月期	構成比 (%)	2027年3月期	構成比 (%)	前期比	
					(%)	+ 差異
売上高	139,779	100.0	145,000	100.0	+ 3.7	+ 5,221
営業利益	2,758	2.0	3,200	2.2	+ 16.0	+ 442
経常利益	3,018	2.2	3,600	2.5	+ 19.3	+ 582
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,180	1.6	2,600	1.8	+ 19.2	+ 420

株主還元：期初見通し変更なし。2027年3月期は100円を予定（中間50円＋期末50円）

中期経営計画目標値：最終年度2028年3月期「配当性向35%以上」、実質「累進配当政策」の継続

- ・中長期（～2035年3月期）では、「配当性向40%以上」「DOE(株主資本配当率)4.0%以上」を視野に



※株主優待の実施可否は、
資材・物流費高騰の影響
により、中長期目標値の
前倒しを含めて検討中

* 2017年3月期以前は併合前の数字を、2024年3月期中間期以前は分割前の数字を調整

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。また、本資料の著作権を含む一切の権利はニチモウ株式会社に帰属します。

IRに関するお問い合わせ
ニチモウ株式会社 総務部IR担当
E-mail : ir@nichimo.co.jp
TEL : 03-3458-3020

2026年8月7日